

塚越城跡(西光寺城跡) 坂戸市

前方が西光寺



正面に山門が見える







山門



奥は薬師堂



西光寺

所在地 坂戸市大字塚越

西光寺は、寛永二十年（一六四三年）の開創であって、当時の地名は、武蔵国入間郡塚越村宇新田前と称し、同郡龍ヶ谷村龍徳寺は本寺であり、宗派は禅宗（曹洞宗）である。

開基は、小島豊後で、小島氏は越後の大名上杉氏の家臣であったが、当地に帰農し境内を寄付して開基となった。

本堂中央には釈迦如来、阿彌陀仏、弥勒菩薩の三尊が祀られている。

山門を入って、西側の薬師堂には秘仏薬師如来、日光菩薩、月光菩薩の三体が奉安され十二神将、前立不動尊が奉祀されている。

中武蔵七十二薬師尊の二十二番の札所で、古来、当地方の信仰の中心地となっている。

なお、本堂北側の墓地には、地蔵尊の銅像の三界万霊塔、阿彌陀仏の無縁塔、金子稻荷観音の三塔から成る供養塔が建立されている。

昭和五十六年三月

坂戸市



本堂





「寶福山」とある





寶福山
乾隆二十九年
歲次己未
月
日
刻



寺の裏手(北面)に回ってみる/右手は薬師堂



裏手は墓地になっている



手前は阿弥陀仏の無縁塔











地蔵尊の銅像の三界万霊塔





金子稻荷観音





山門に戻って寺域の右手を廻ってみる

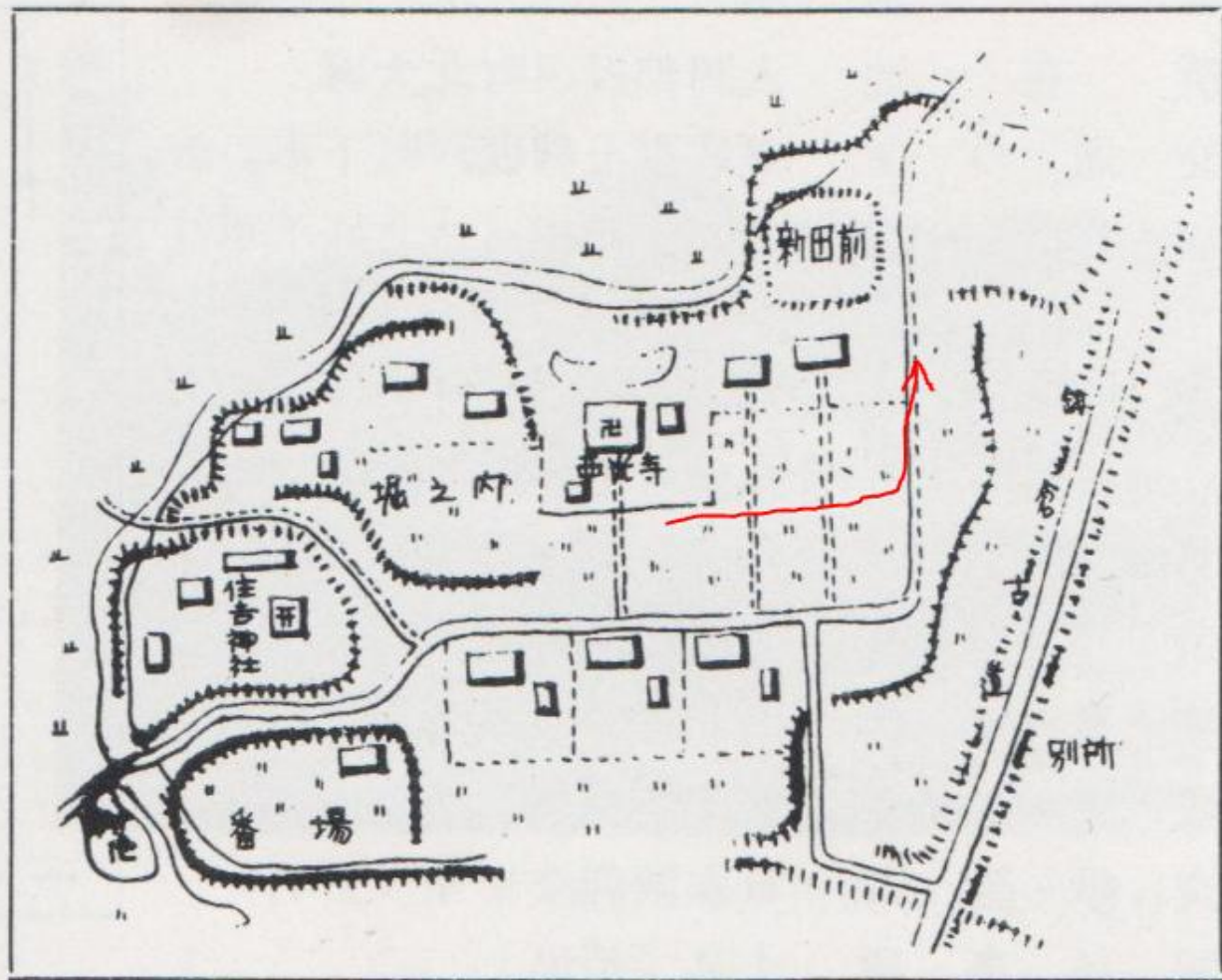




こんな鐘楼もあった







西光寺城見取図

寺域の右手に回り込む



堀跡らしき地形(左手)



寺域の裏手に回りこめる道(農道)がある



平行してこちらは堀跡の名残りか





この木々の中に遺構があるという



さて、寺域の裏手を廻って遺構を見てみよう





堀跡か切通しの通路と云われる/左右は土塁なのか



前方奥は平行してあった堀跡らしき道



そこにはさまざまな供養塔があった(大宮住吉神社の関係者のものという)



振り返ると反対側に道らしきものがある



進んでみる



実は堀跡か



土塁のようでもある



堀跡は左に回りこんでいる



堀跡は回りこんで延びている



土塁と思われる地点から堀跡を見る



振り返っても土塁と堀跡らしき地形がある











元の場所まで戻る







もう少し寺域の裏手に進んでみる







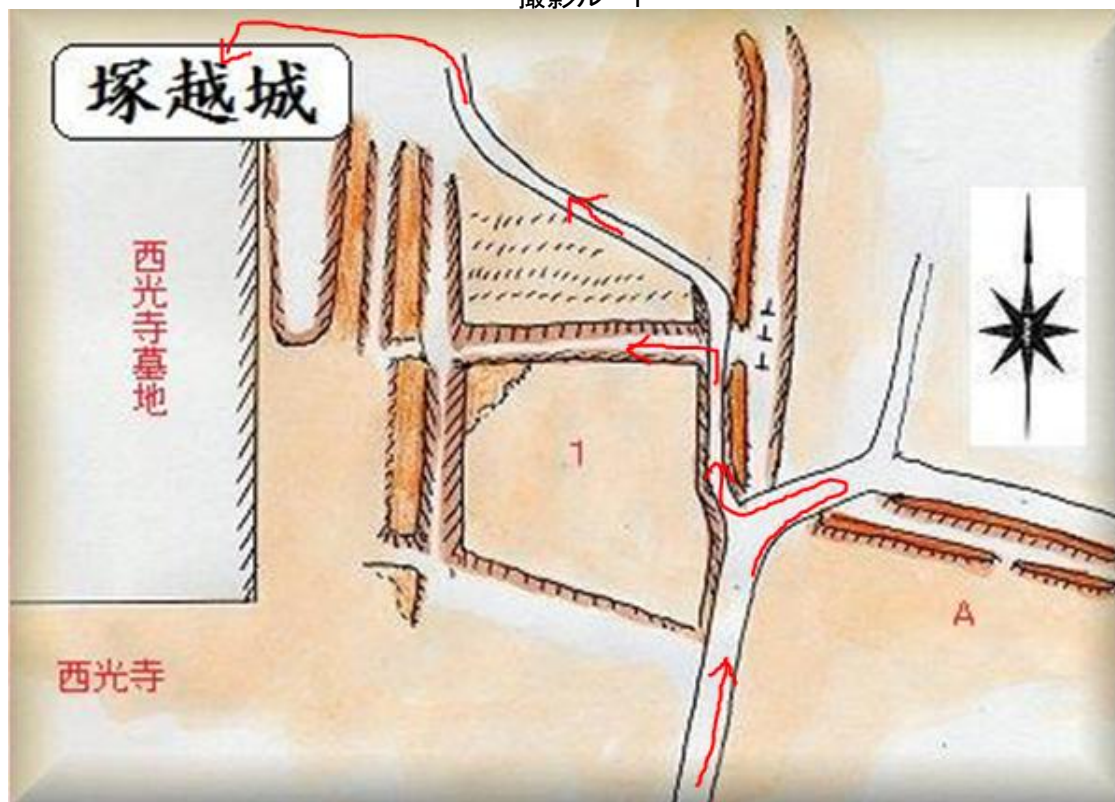
前方は水田になっている/左手に曲がって進んでみる



正面に墓地が見える



撮影ルート



インターネットより

この木々の中に土塁、堀跡らしきものが残されている





少し離れた所から見る



元に戻る







正面に最初の道路が見える



寺域の前面に戻ってみる



右手が西光寺、前方から左手にかけては大宮住吉神社境内



前方は西光寺



寺域の左手に堀跡らしき地形がある

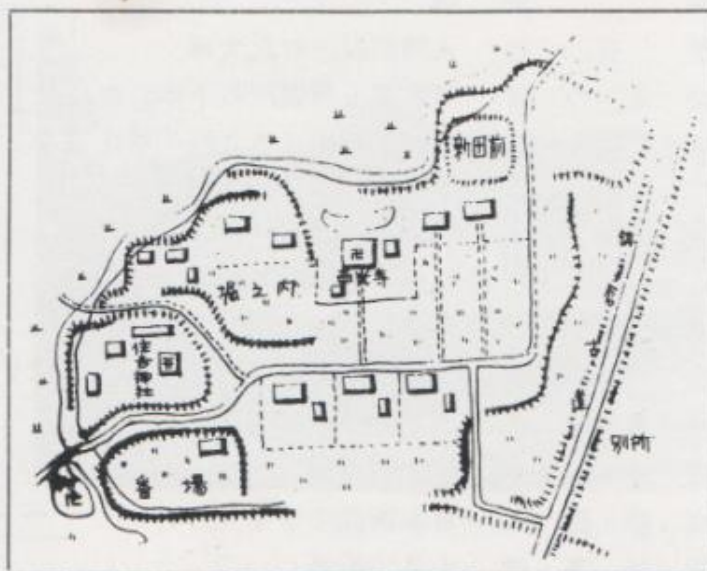






103 西光寺城

種別	城(平山城)
所在地	入間郡坂戸町塚越新田前
交通の便	東武東上線坂戸駅発川越行バス塚越下車徒歩20分
土地所有者	私有地(同所 西光寺ほか)
立地・形態・面積	台地 長方形 33000m ² (10000坪)
遺構	土塁・堀(空堀・水堀)共一部残存。
築造年代	平安時代末期か
城主・居住者	
文献・絵図	新編武蔵風土記稿(公刊) 日本城郭全集4(公刊)
関係事項	住吉社、神池
伝承・記録	



西光寺城見取図

西光寺の開基は小島豊後と称して管領上杉氏の家臣である。豊後は屋敷内に庵室を設けて西光庵と号したが西光寺の初めという。豊後の子越後は天文年中の河越夜戦後、上杉を去って後北条氏に属し、土着したという。この城址の築造年代は不明。また誰の居館であったかも詳らかでない。

参考ホームページ

<http://www.geocities.jp/tsukavan0112/subdir-siropage/tukakosiiou.html>

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/sakadosi.htm>

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/018tsukakoshi/tsukakoshi.html>





追加

http://blogs.yahoo.co.jp/lunatic_rosier/55354313.html

http://outdoor.geocities.jp/kojyo_annai/3_kanto/9_saitama/saikouji_shiro.html